

## 付録 robocopyコマンド

バックアップ・同期ツールでは、Windows標準のrobocopyコマンドでコピーを実行しています。各ジョブで用いるコマンドは下の通り。

AフォルダをA、BフォルダをB、フルバックアップサブフォルダをfull、差分バックアップサブフォルダをdif、増分バックアップサブフォルダをincと表記します。

	ジョブの種類	robocopyコマンド
世代管理なし	バックアップ	robocopy Aのパス Bのパス
	一方向同期 (ミラーリング)	robocopy Aのパス Bのパス /MIR
	双方向同期	robocopy Aのパス Bのパス /XO /Z robocopy Bのパス Aのパス /XO /Z
世代管理あり	フルバックアップ	robocopy Aのパス fullのパス /MIR (差分・増分バックアップ用のフルバックアップを行うときは、 attrib -a Aのパス¥*.¥ /S /D /L コマンドを追加)
	差分バックアップ	robocopy Aのパス difのパス /A
	増分バックアップ	robocopy Aのパス incのパス /M

各コマンドに共通して、下記のオプションが付加されます。

オプション	意味
/E	コピー元フォルダのサブフォルダ配下もコピーする。 (/MIR オプションを付加した場合を除く。)
/DCOPY:T	フォルダのタイムスタンプもコピーする。
/COPYALL /IT	セキュリティ情報もコピーする。 (ACツールズを管理者として起動しているときに有効。)
/SJ	ジャンクションは、ジャンクションとしてコピーする。
/SL	シンボリックリンクは、シンボリックリンクとしてコピーする。

ユーザーの設定により、さらに下記のオプションが付加されます。

オプション	意味
/XO	コピー先の方が新しいファイルは上書きしない。 (バックアップと一方向同期(ミラーリング)で指定可能。)
/MAX:n	n バイトより大きいファイルを除外する。
/MIN:n	n バイトより小さいファイルを除外する。
/MOT:m	コピー元を監視し、m分後に変更があれば再度実行する。
/MON:n	コピー元を監視し、n回以上の変更があれば再度実行する。
/XF files...	特定のファイル、特定の拡張子を持つファイルをコピー対象から除外する。
/XD dirs...	特定のフォルダをコピー対象から除外する。
/LOG:パス	パスにログファイルに出力する(既存なら上書き)。
/LOG+:パス	パスにログファイルに出力する(既存なら追記)。

※ 特定のファイル、特定の拡張子を持つファイルをコピー対象とする場合、オプションの前にパラメータとして付加されます。

拡張設定画面で、任意のオプションを追加・削除できます。

オプション（例）	意味
/COMPRESS	ネットワーク転送時、ファイル圧縮を行う。
/R:n	コピーに失敗したら、n回再試行する。 （このオプションの追加がない場合、2回再試行します。）
/W:n	再試行までn秒待機する。 （このオプションの追加がない場合、3秒待機します。）